



2月4日 第26回 釜石市郷土芸能祭【市民ホールTETTO】

後世に残したい地域の郷土芸能

市内に伝わる郷土芸能を広く知ってもらい、伝統を次の世代に引き継ぐために2年に1度開催する郷土芸能祭が開催されました。今年は、東日本大震災後の平成27年に鶴住居町に慰問に訪れて神楽を披露していただいた県指定文化財の「一戸の山伏神楽・高屋敷神楽」が特別出演して、多くの観客を魅了しました。



↑一戸の山伏神楽・高屋敷神楽
←神ノ沢鹿踊(鶴住居町)

2月23日 第37回 釜石市民劇場【市民ホールTETTO】

岩木山・浅間山噴火による飢饉を描く

第37回となる今年は、江戸時代中期に全国を襲った「天明の大飢饉」にスポットをあてた作品。天明飢饉事変「栗林村 タエの物語」として南部藩栗林村を襲った飢饉を題材に九歳の少女を主人公として村人や子どもたちの運命を描いた市民手作りの舞台を公演しました。

観客は、食べ物当たり前にあることのありがたさに思いを馳せながら、出演者に大きな拍手を贈っていました。



2月25日

第13回 全国虎舞フェスティバル
【市民ホールTETTO】

迫力ある演舞に万来の拍手

今年は、県内外の虎舞文化を継承する11団体が参加して、復興の願を込めて演舞しました。当日は延べ1,000人の観客が各団体の踊りを堪能しました。

また、演舞の終了後には初の試みとして「虎舞体験会」も開催され、体験を希望した子どもたちが踊りや太鼓さばきを学ぶ貴重な体験となりました。



気仙沼市から参加した「平磯芸能保存会」



2月24・25日

第35回 昭和新山国際雪合戦大会
【北海道 昭和新山山麓特設会場】

世界に広がる「スポーツ雪合戦」

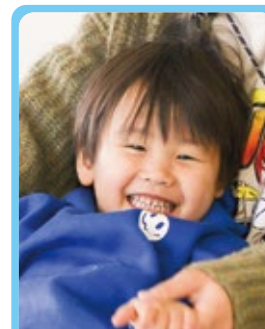
北海道壮瞥町で開催された「第35回昭和新山国際雪合戦大会」に県予選を勝ち抜き出場権を獲得したタイガーセブン（一般の部）と大会実行委員会から推薦を受けたウル虎ジュニア釜石（ジュニア交流戦の部）の2チームが出場しました。熱戦の末、ウル虎ジュニア釜石が見事優勝しました。釜石勢が優勝するのは初めてのことです。



すこやかアイドル



はしもと なぎ
橋本 凪くん
(2歳)
いっぱい笑って
みんなを幸せにしてネ!



ながやま ゆきと
長山 志和くん
(2歳)
元気いっぱい
大きくなってね!



たかい さわ かなで
高井澤 心奏ちゃん
(2歳)
いつもニコニコなかつちゃん♡
大好きだよ!!



さいとう りあ
齊藤 理桜ちゃん
(2歳)
ニコニコかわいい笑顔
たくさんみせてネ



ごとう ゆりか
郷 由梨佳ちゃん
(2歳)
元気いっぱい大きくなって
くれてありがとう 大好きだよ!

2月25日 釜石高校SSH課題研究発表会・研究成果報告会【市民ホールTETTO】

地域に新しい価値を生み出す

スーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されている釜石高校の生徒らが興味を持った分野を1年間探究した成果を報告する発表会が開催されました。会には交流のある水沢高校からも生徒が参加し、学校を越えた意見交換も行われました。「アロエの紫外線カット効果の検証と日焼け止めつくり」「釜石高校制服改革」といったユニークなテーマも見られ、それぞれが興味を持った分野の理解を深めました。



ご寄附ありがとうございます

2月1日 市長室



かまいし親富幸通り
飲食店会 様

飲食店会各店舗に募金箱を設置して呼びかけて集まった募金を「ウクライナ人道危機救援金」として日本赤十字社に寄付しました。

2月10日 イオンタウン釜石



釜石市赤十字奉仕団 様
釜石野球団・釜石野球団
ジュニア 様

能登半島地震で被害に遭われた方々への募金活動をおこないました。